

## 災害に備える事業継続計画（BCP）

### 【研修】

講師 社会福祉士 東海林 崇

### 【研修内容】

事業継続計画（BCP：Business Continuity Plan）とは、サービスを提供し続けるために、災害や事故などで被害を受けても、重要なサービス提供をなるべく中断させない、また、中断しても可能な限り早急に再開するように、事前に取り決めておく計画のことです。

本研修では、BCPの考え方にもとづき、想定される災害、自施設の被害想定、事業が継続できない（あるいはしにくくなる）被害の想定した上で、サービスを継続的に提供するための方策について講義します。

また、演習を通じて、実際にBCPの策定手法について体験し、自法人に戻った時の参考にしてもらうことを目的として実施します。

社会福祉士 東海林 崇（とうかいりん たかし）

地銀系シンクタンク、大手外資系コンサルティング会社にて、主に国等における社会保障分野の調査研究事業に従事。また、中小企業や社会福祉施設におけるBCP策定支援にも従事。

社会福祉サービスの利用者はサービス提供に支障をきたすと生命の危機に瀕してしまう方が多くいます。そのため、サービスをいかに継続するか、早く復旧させるかが非常に重要です。発災直後の避難や初動対応に対する訓練は多く実施されていますが、BCPの観点での取り組みはまだ十分ではないところが多いと感じています。災害時に起こる、活用できる経営資源（特に人的資源）の減少を想定して、資源の有効投入をいかに事前に考えるかが重要であると思います。

本研修を通じて、発災時の迅速なサービス提供の復旧につなげられるよう、お役に立てればと思います。